

坂戸・鶴ヶ島消防組合情報セキュリティポリシー
基本方針

令和8年4月1日

目次

第1章 情報セキュリティ基本方針

1 目的	1
2 定義	1
3 対象とする脅威	2
4 適用範囲	2
5 職員等の遵守義務	3
6 情報セキュリティ対策	3
(組織体制の確立、情報資産の分類・管理、物理的・人的・技術的セキュリティ対策など)	
7 情報セキュリティ監査及び自己点検の実施	4
8 情報セキュリティポリシーの見直し	4
9 情報セキュリティ対策基準の策定	5
10 情報セキュリティ実施手順の策定	5

情報セキュリティ基本方針

1 目的

本基本方針は、坂戸・鶴ヶ島消防組合（以下「消防組合」という。）が保有する情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持するため、消防組合が実施する情報セキュリティ対策について基本的な事項を定めることを目的とする。

2 定義

(1) ネットワーク

コンピュータ等を相互に接続するための通信網、その構成機器（ハードウェア及びソフトウェア）をいう。

(2) 情報システム

コンピュータ、ネットワーク及び電磁的記録媒体で構成され、情報処理を行う仕組みをいう。

(3) 情報セキュリティ

情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持することをいう。

(4) 情報セキュリティポリシー

本基本方針及び情報セキュリティ対策基準をいう。

(5) 機密性

情報にアクセスすることを認められた者だけが、情報にアクセスできる状態を確保することをいう。

(6) 完全性

情報が破壊、改ざん又は消去されていない状態を確保することをいう。

(7) 可用性

情報にアクセスすることを認められた者が、必要なときに中断されることなく、情報にアクセスできる状態を確保することをいう。

(8) LGWAN 接続系

LGWAN に接続された情報システム及びその情報システムで取り扱うデータをいう（マイナンバー利用事務系を除く。）。

(9) インターネット接続系

インターネットメール、ホームページ管理システム等に関わるインターネットに接続された情報システム及びその情報システムで取り扱うデータをいう。

(10) 通信経路の分割

LGWAN 接続系とインターネット接続系の両環境間の通信環境を分離した上

で、安全が確保された通信だけを許可できるようにすることをいう。

(11) 無害化通信

インターネットメール本文のテキスト化や端末への画面転送等により、コンピュータウイルス等の不正プログラムの付着が無い等、安全が確保された通信をいう。

(12) 職員等

消防組合が所管する情報資産に関する業務に携わる正規職員、再任用職員、会計年度任用職員、非常勤の特別職員、委託事業者等及び労働者派遣契約に基づき消防組合の業務の処理に従事する派遣労働者等をいう。

(13) 外部サービス

消防組合の行政機関以外の者が一般向けに情報システム（通信回線、配送等を含む）の一部又は全部の機能を提供するものをいう。

(14) クラウドサービス

外部サービスの中で、事業者によって定義されたインターフェイスを用いた、拡張性、柔軟性を持つ物理的又は仮想的なリソースによりネットワーク経由でアクセスできる情報システム等をサービスとして提供するものをいう。

3 対象とする脅威

情報資産に対する脅威として、以下の脅威を想定し、情報セキュリティ対策を実施する。

- (1) 不正アクセス、ウイルス攻撃、サービス不能攻撃等のサイバー攻撃や部外者の侵入等の意図的な要因による情報資産の漏えい、破壊、改ざん、消去、重要情報の詐取、内部不正等
- (2) 情報資産の無断持ち出し、無許可ソフトウェアの使用等の規定違反、設計・開発の不備、プログラム上の欠陥、操作・設定ミス、メンテナンス不備、内部・外部監査機能の不備、外部委託管理の不備、マネジメントの欠陥、機器故障等の非意図的的要因による情報資産の漏えい・破壊・消去等
- (3) 地震、落雷、火災等の災害によるサービス及び業務の停止等
- (4) 大規模・広範囲にわたる疾病による要員不足に伴うシステム運用の機能不全等
- (5) 電力供給の途絶、通信の途絶、水道供給の途絶等のインフラの障害からの波及等

4 適用範囲

(1) 行政機関の範囲

本基本方針が適用される行政機関は、消防組合、消防組合議会、行政委員会とす

る。

(2) 情報資産の範囲

本基本方針が対象とする情報資産は、次のとおりとする。

- ①ネットワーク及び情報システム並びにこれらに関する設備及び電磁的記録媒体
- ②ネットワーク及び情報システムで取り扱う情報（これらを印刷した文書を含む。）
- ③情報システムの仕様書及びネットワーク図等のシステム関連文書

5 職員等の遵守義務

職員等は、情報セキュリティの重要性について共通の認識を持ち、業務の遂行に当たって情報セキュリティポリシー及び情報セキュリティ実施手順を遵守しなければならない。

6 情報セキュリティ対策

対象とする脅威から情報資産を保護するために、以下の情報セキュリティ対策を講じる。

(1) 組織体制

消防組合の情報資産について、情報セキュリティ対策を推進する全庁的な組織体制を確立する。

(2) 情報資産の分類と管理

消防組合の保有する情報資産を機密性、完全性及び可用性に応じて分類し、当該分類に基づき情報セキュリティ対策を実施する。

(3) 情報システム全体の強靱性の向上

情報セキュリティの強化を目的とし、業務の効率性・利便性の観点を踏まえ、情報システム全体に対し、次の二段階の対策を講じる。

①L G W A N（総合行政ネットワーク）系L A N

L G W A Nと接続する業務用システムと、インターネット系L A Nの情報システムとの通信経路を分割する。なお、両システム間で通信する場合には、無害化通信を実施する。

②インターネット系L A N

不正通信の監視機能の強化等の情報セキュリティ対策を実施する。

(4) 物理的セキュリティ

サーバ、情報システム室、通信回線及び職員等のパソコン等の管理について、物理的な対策を講じる。

(5) 人的セキュリティ

情報セキュリティに関し、職員等が遵守すべき事項を定めるとともに、十分な教育及び啓発を行う等の人的な対策を講じる。

(6) 技術的セキュリティ

コンピュータ等の管理、アクセス制御、不正プログラム対策、不正アクセス対策等の技術的対策を講じる。

(7) 運用

情報システムの監視、情報セキュリティポリシーの遵守状況の確認、外部委託を行う際のセキュリティ確保等、情報セキュリティポリシーの運用面の対策を講じるものとする。また、情報資産に対するセキュリティ侵害が発生した場合等に迅速かつ適正に対応するため、緊急時対応計画を策定する。

(8) 業務委託と外部サービス（クラウドサービス）の利用

消防組合の業務を受託する事業者（当該事業者から派遣されている者を含む。）に当該業務を行わせる場合には、消防組合が定める情報セキュリティ要件等、セキュリティ対策上、遵守させるべき事項を、委託事業者等の選定要件として提示する。さらに、契約や協定等（以下「契約等」という。）の締結時等に、消防組合が定める情報セキュリティ要件を契約等事項に明記し、委託事業者等において要件を満たすセキュリティ対策が確保されていることを確認、又は、別途、書面による提出を求める等の措置を講じる。

なお、クラウドサービスの利用に当たっては、利用に関する手順等を定めるとともに、必要に応じて、当該利用の対象とする情報について定める等、規定を整備し、対策を講じる。

(9) 評価・見直し

情報セキュリティポリシーの遵守状況を検証するため、定期的又は必要に応じて情報セキュリティ監査及び自己点検を実施し、運用改善を行い、情報セキュリティの向上を図る。情報セキュリティポリシーの見直しが必要な場合は、適宜情報セキュリティポリシーの見直しを行う。

7 情報セキュリティ監査及び自己点検の実施

情報セキュリティポリシーの遵守状況を検証するため、定期的又は必要に応じて情報セキュリティ監査及び自己点検を実施する。

8 情報セキュリティポリシーの見直し

情報セキュリティ監査及び自己点検の結果、情報セキュリティポリシーの見直しが必要となった場合及び情報セキュリティに関する状況の変化に対応するため新た

に対策が必要になった場合には、保有する情報及び利用する情報システムに係る脅威の発生の可能性及び発生時の損失等を分析し、リスクを検討したうえで、情報セキュリティポリシーを見直す。

9 情報セキュリティ対策基準の策定

情報セキュリティ対策、情報セキュリティ監査、自己点検及び必要に応じて情報セキュリティポリシーの見直しを実施するために、具体的な遵守事項及び判断基準等を定める情報セキュリティ対策基準を策定する。

なお、情報セキュリティ対策基準は、公にすることにより消防組合の行政運営に重大な支障を及ぼすおそれがあることから非公開とする。

10 情報セキュリティ実施手順の策定

情報セキュリティ対策基準に基づき、情報セキュリティ対策を実施するための具体的な手順を定めた情報セキュリティ実施手順を策定するものとする。

なお、情報セキュリティ実施手順は、公にすることにより消防組合の行政運営に重大な支障を及ぼすおそれがあることから非公開とする。